

尾道シニア会報

平成26年4月15日

野村謙二郎CUP・西日本中学野球大会出場

1月30日、野村謙二郎CUP第5回西日本中学野球大会が開幕し、リトルシニア(11)・ボーイズ(11)・ヤング(10)の32チームの選手たちが憧れのマツダスタジアムで入場行進し、野村広島東洋カープ監督の激励の挨拶など感動の開会式が行われました。同日、虹村公園野球場で行われた府中広島'2000との1回戦は、5回表、集中攻撃で5点を先制し相手の反撃も最終回の1点に抑えて勝ち上がり、翌12月1日、三次きんさいスタジアムで行われた広島ボーイズとの2回戦は、そのつない攻撃で効果的に加点し勝利しましたが、飯塚ボーイズとの3回戦は、互いに譲らず5:5の同点で迎えた最終7回表、失策も絡んで2点を失って敗退し惜しくもベスト4進出はなりませんでした。

2年連続3回目の出場となったこの大会も前回と同じ3回戦敗退に終わりましたが、新チームになって初めてこうした緊迫したゲームを経験して、チーム力の底上げを実感できる大会になりました。

1回戦 対 府中広島'2000 5:1勝/呉市虹村公園野球場

2回戦 対 広島ボーイズ 5:2勝 3回戦 対 飯塚ボーイズ 5:7負/三次きんさいスタジアム

2014年度OB交流会開催

1月2日、恒例のOB交流会を東尾道スポーツ広場にて開催しました。当日は、高校・大学・社会人・プロ野球で活躍する卒団生に現役選手、スタッフ、保護者など合わせて300名近いみなさんにご参加をいただき、例年にも増して盛会な交流会になりました。

選手たちは、目標とする憧れの先輩たちとの交流にこころ躍らせながら、土生選手(12期生/広島東洋カープ)や江村選手(15期生/千葉ロッテ)とその兄の将也選手(東京ヤクルト)からも指導を受けるなど、大変有意義な思い出に残るOB交流会になりました。

藤原・二角君(広島新庄高)甲子園大会出場

第86回選抜高等学校野球大会出場の広島新庄高校(春夏を通じて初出場)のベンチ入りメンバーに尾道シニア19期卒団の『藤原由幸・二角太陽君』が選ばれ、憧れの甲子園大会に出場しました。

文武両道を目指した高校での努力が報われて憧れの甲子園出場を果たした二人の活躍や広島新庄高校の勝利を願って、3月25日には、甲子園球場へ応援に駆けつけました。その試合は、攻めてはチャンスに集中打で効果的に得点し守っては堅実な守備で6:0と東海大三(長野県)を完封して、見事、初陣で甲子園初勝利を飾りました。この夢舞台で、広島新庄高校の選手たちがはつらつと躍動する姿を目にして、わがチームの選手たちも、甲子園への憧れをさらに強くしたものと思います。

第21期卒団生の進路が決まりました

それぞれに期待や不安でいっぱいと思いますが、これまでお世話になってきた人たちへの感謝を忘れず、仲間を信じ、何よりも自分自身を信じて、一人ひとり夢の実現を目指してもらいたいものです。

第21期生は、選手が粒ぞろいと大きな期待が寄せられ、選手権中国支部大会や東アジア宮崎大会ではその実力の片鱗を発揮してくれましたが、故障者が続出するなど持てる力を発揮しきれず、不完全燃焼で一抹の未練も残す卒団ではなかったかと思います。この一年間、故障などで苦しんだ分、高校ではそれぞれに潜在能力が大きく花開いて、一段と成長されることを心から願っています。

宗光 康作・今村 隆太・立花 海都(岡山理大附) 青野 大輝・松岡 空良(如水館高校)
 岩田 卓大・豊岡 稜人・花本 龍之介(広島新庄高校) 佐能 隆輝・宝利 太勢(福山工業高校)
 城田 直弥・吉原 大凱(尾道商業高校) 関田 光平(府中東高校) 檀上 隼(近大附福山)

17名の新入団選手（第24期生）を迎えました

1月12日（日）18時からグリーンヒルホテル尾道にて開催した『2014年度尾道シニア入団式』は、17名の新入団選手とその保護者のみなさんをお迎えして、スタッフや在団する選手、保護者が参加した総勢130名の盛大なものになりました。

入団式では、新入団の選手一人ひとりに決意や抱負を発表してもらうなど、和気あいあい楽しいひと時を過ごしましたが、これから3年間、お世話をいただく周りのたくさんの人たちへの感謝を忘れず、大好きな野球を思いっきり楽しみながら、一人ひとり夢の実現を目指してもらいたいものです。

赤川 大祐（新市中央中）池ノ内 篤志（済美中）石井 月也（新市中央中）
井上 愛斗（高西中）應地 武流（美木中）尾多賀 元喜（新市中央中）加田 龍汰（吉和中）
北川 和（栗原中）小林 俊介（新市中央中）小森 稜平（済美中）芝田 人夢（高西中）
鈴木 啓太郎（高西中）谷口 恭太（因島南中）前田 智貴（高西中）松岡 尚輝（大成館中）
宮本 晴人（美木中）山口 慶人（久保中）

春季大会、秋季制覇の広島南に屈し2回戦敗退

第43回春季関西連盟中国支部大会は、2月22日、福山市民球場にて開会式が行われ、わがチームの松岡直輝主将が『支えてくれたみなさんに感謝し、正々堂々全力でプレーします』と力強く選手宣誓して開幕しました。開会式直後の福山チームとの1回戦は、相手のミスに乗じて大量得点して5回コールドで勝ち上がりましたが、3月1日、呉市虹村公園野球場で行われた2回戦は、1回表2点を先制するも打撃に勝る相手に効果的な得点を許し、その一方で、チャンスにあと一押しがならず、秋季大会制覇の広島南チームに屈し無念の2回戦敗退に終わりました。

選手たちは、秋・春季大会とも結果が残せず、大変悔しい思いをしていますが、必ずや、残る選手権大会では、このリベンジを果たしてくれるものと信じています。

第21回尾道市長旗争奪野球大会準備はじまる

尾道市長旗争奪シニア野球大会は、中学球児の夢への挑戦をサポートする活動の一環として、西日本各地のリトルシニアの仲間が集い交流できる場を提供するとともに、地域の少年硬式野球の振興に寄与することを目的に、毎年8月上旬、尾道市内を中心に開催しています。

この大会も今年で21回目を迎えますが、3月15日に開催した大会準備打合わせ会において運営方針などその概要を確認して、例年のように、実行委員全員で大会パンフレット掲載の広告協賛金集めに着手することになりました。

中学球児の夢への挑戦をサポートする活動の資金といたしたく、何卒、賛助会員のみなさまにも、例年のように広告掲載のスポンサーを紹介いただくなど、この活動にご協力をよろしくお願いいたします。

ご用の際は、いつでもお気軽に大会事務局長（田頭 健太郎）までご連絡ください。

日 程 平成26年8月2日（土）～3日（日）
会 場 びんご運動公園しまなみ球場 他
運 営 第一日目 3チームによる予選リーグ戦（9ブロック）
第二日目 上位4チームによる決勝トーナメント戦

賛助会員のみなさんへ

賛助会員へのご加入並びに資格更新をいただき誠にありがとうございます。平成26年4月1日現在、賛助会員数は次のとおりになりました。

個人会員 60名／法人会員 3団体

— 賛助会事務局 —

事務局長 田 頭 健太郎（携帯電話 090(8247)9052）